キートンの蒸気船（1928）

STEAMBOAT BILL JR.

メディア　映画
ジャンル　コメディ
製作国　アメリカ
色彩　B&W
時間　72分
初公開日　不明
リバイバル　1973/08［フランス映画社］

【キャッチコピー】
ミシシッピーを　猛襲するギャグ・ハリケーン！　愛と恋を抱いて　雨に泳げ、風に走れキートン！（リバイバル時）

【解説】
　ＮＹから故郷ミシシッピーに帰り、久しく会わなかった父と再会するキートン。駅に彼を迎えに行く父は、電報で知らせてきた目印のカーネーションを目当てに息子を探すが、この日は母の日で降りてくる男の客の皆、同じ花を胸につけており、肝心の本人は向こう側のホームに降りているーーという傑作ギャグから始まる本編は、キートン一流のマッチョを揶揄した痛快アクション満載の喜劇。蒸気船船長の父は自分のように逞しく成長した息子を想像していたが、貧弱で軟派な都会のモダンボーイでガックリ。父の船で助手として働くようになる彼は、父のライバルの船と競走して勝つなど、やがては意外な底力を飄々と発揮してみせることに。後半の暴風雨のスペクタクル・ギャグは語り草になるほどで、三階建ての家が倒壊して下敷きか？　と思いきや、その窓の箇所に立っていて難を逃れたり、風に転がる家と戯れたり、コウモリ傘ごと引っ張られ空を舞ったりと、超人的アクションでシュールな笑いを繰り広げる。そしてラスト。大洪水から町の人々を救う大活躍をし、船の甲板で愛しのヒロインがキスを待ち受けているというのに突然、河の中に飛び込むキートン。なんだ、溺れかけていた牧師を救っていたのかーーというオチが、全くクールな奴だぜと再び拍手喝采もの。この偉大なダブルテイクを劇場で観る際の反応は感動的なものがありますので、できれば、銀幕でご覧下さい。

【クレジット】

監督	チャールズ・Ｆ・ライスナー	Charles F. Reisner
	バスター・キートン	Buster Keaton
製作	バスター・キートン	Buster Keaton
脚本	カール・ハルボー	
出演	バスター・キートン	Buster Keaton
	アーネスト・トレンス	Ernest Torrence
	トム・ルイス	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.